

○第 54 回わいわい会(東海道本線:穂積～岐阜)

第 54 回わいわい会は、平成 26 年 7 月 20 日（日）～21 日（月）岐阜を舞台に開催する。二日とも梅雨明け前の好天に恵まれる。出席者数はわいわい会単独では 27 名とこれまで最高の参加を頂いた。そのうち、初参加の方は、本部の多田野榮会長、関西桜紫会の高田律子さん、関東桜紫会の水野充さん、そして佐藤明弘さんの自転車仲間の西堀常安さんの 4 名。27 名の参加メンバーは下記の通り。

池田稔、井上律子、植村寿子、宇賀神篤美、大崎武久、
小川嘉子、檜原勉、坂本康夫、佐藤明弘、佐藤安夫、
末澤美紀子、高田律子、多田野榮、田月宏、富野由紀子、
西田伊勢子、西堀常政、福西昭夫、福家寛、藤岡具美、
藤澤隆教、藤本泰彦、水野充、溝縁義文、門口マサ子、
山下和秋、山本初代（アイウエオ順、敬称略）

今回のスケジュールは、次の通り。

<7 月 20 日（日）>

穂積駅（結団式）→西岐阜駅→岐阜駅→東横イン岐阜
→居酒屋蛸（ケイ）で懇親会→東横イン岐阜泊

<7 月 21 日（月）>

東横イン岐阜→岐阜城→おこげ本店で反省会→岐阜駅（解散）



穂積駅

< 1日目> 7月20日（日）晴れ

朝、3時過ぎに起床。7月18日（金）～19日（土）、熱海後樂園で富国アクチュアリー総会。19日（土）は14時より横浜の崎陽軒本店で立命館神奈川県校友会があり、多少疲れ気味であったが、昨夜20時半過ぎに寝たのが大成功。3時頃目が覚め、保険情報に掲載された私のコラム記事と神奈川校友会の記事をカッシー館ブログに投稿する。愛犬セブンが平成26年5月21日他界したため、今回のウォーキングからは愛犬の散歩という言葉はなくなる。寂しい限りである。自宅を7時20分頃出る。南林間7時33分発の片瀬江ノ島行の電車で藤沢駅へ。8時頃 JR 藤沢駅に到着する。



穂積駅に向かう

まだ早かったため、待ち合わせのメンバーは誰もいなかった。暫くして、宇賀神さん、福西さん、小川さん、大崎さんがお見えになり、集合時間である8時30分（時間厳守）に全員 JR 藤沢駅改札口前に集まることができる。この駅で各自昼食用の弁当を買い、8時35分、青春18きっぷの乗車手続きを済ませる。用心のため1本早い電車（藤沢8時44分）に乗る。そして、茅ヶ崎駅で溝縁さんと合流する。ここから、藤沢発8時52分の電車に乗り継ぐ。12号車に乗り込む。東京からの坂本さん、藤本さん、植村さんは9号車で、車両の関係から熱海までは合流できず。小田原駅手前500m位のところで（9時20分頃）、鴨宮駅で人身事故が発生する。その関係で、15分～20分位冷房がきかない社内で暑い思いをする。窓をあけ換気する。悪い中にも、鴨宮駅をよく通過していたものだ。もし、鴨宮駅手前の事故であれば、2時間近く電車が遅れていたであろう。15分～20分位停車したあと、徐行運転して小田原駅へ。この駅で5分位停車。それ故、熱海から乗車する予定の電車時刻が大幅に崩れる。すなわち、30分遅れのダイヤで、わいわい会集合場所の穂積駅を目指すこととなる。熱海からは島田行に乗る。熱海駅で東京からの3人のメンバーに合流する。水野さんは一足早い電車のため熱海駅で合流できず。島田駅で12時8分発の浜松行に乗り変える。この電車の中で昼食を摂る。西田さんも電車が遅れた関係で合流できず。浜松からは13時9分発の豊橋行きに乗る。そして、豊橋からは13時21分に乗るべきところ、30分遅れの13時51分の電車となる。

山下さんに、13 時 54 分、30 分遅れる旨の電話をする。彼は、「今穂積駅に到着」との回答がある。連絡がとれホッとする。



誤って長良川土手歩き

穂積駅には 30 分遅れの 15 時 11 分に到着する。我々 9 名を 12 人が待っていてくれた。多田野会長、門口さん、佐藤さん、田月さん……。15 時 20 分、結団式の後、穂積駅で 21 名の集合写真を撮影。穂積駅と西岐阜駅の間に長良川があるのを失念する。誤って、鉄道の線路を括ったのが大失敗。15 分位のんびり歩いた後、前方を長良川が突如遮る。頭の中が真っ白になる結果を招く。橋が遠くに 2 つ見える。一つは、左手には 1.5 km 先にある橋、二つ目は右手には 1 km 先にある橋。迷った結果、右手に見える橋をわたることになる。結果的には正解であったが、歩道と車道とが分離していないため、20 分位、長良川迂回に皆さんを大変危険な道中を味わってもらうこととなる。無事全員が通過できほっとするが、もしもの事態を想定すると反省・反省で満腹となる。



見覚えのある墨俣城の標識 穂積大橋

15 時 59 分、見覚えのある墨俣城の看板をみて安堵する。16 時 2 分、穂積大橋を渡る。万歩計の感度が鈍く、正しくは測定できなかったが、東海道本線踏破の測定では 692 歩とあった。橋を渡ると、岐阜市であった。水野さんが先頭になり誘導。西岐阜駅への道中、池田さんと“わいわい”と語りながら歩く。「泊まる歩き会を年 2 場所位にできないか。また北海道や東北地方などの場所も考えて欲しい」との提言がある。これに対し、

「財布にやさしいわいわい会を目指しています。それ故、このような企画をしても参加者が少ないと思われます」と応対。「なるほどその通り」だねと。多田野会長とも歩きながら、「財布にやさしいわいわい会」には納得されていた。17時3分、西岐阜駅に到着。ここで、10人アップする。



穂積大橋の途中から岐阜市 西岐阜駅

11名で3km先の西岐阜駅を目指す。すなわち、田月さん、水野さん、西田さん、門口さん、溝縁さん、福西さん、藤本さん、植村さん、山下さん、宇賀神さん、檜原の11名。田月さんと「わいわい道中記／50回記念号」の感想や趣味等について語りながら鉄道に沿って歩く。17時14分、葛西家住宅前を通過。17時17分、本荘神社前を通過。



本荘神社 岐阜駅

18時岐阜駅に到着。そして、東横イン岐阜には18時15分到着。窓口には、7月9日、東横イン宿泊に人数を確認させて頂いた田村さんの姿があった。挨拶させて頂く。末澤さんから差し入れを頂戴する。そして、初参加の西堀さんに挨拶をして。チェックインを済ませ、18時22分、509号室に到着する。シャワーを浴び、ロビーには18時45分に出向く。



植村さんに集金をお願いする。そして、18時55分頃から、2～3分離れた先の居酒屋“蛍（ケイ）に”向かう。19時10分頃から、多田野桜紫会会長挨拶後、福家関東桜紫会会長の乾杯の音頭で懇親会がスタートする。多田野会長のご挨拶の中で、“長良川鵜飼と迂回の掛詞”は、座布団5枚に値する名スピーチであった。22時5分頃まで懇親が続く。



蛍で大宴



途中、適当な時間を見計って、来年のわいわい会プランを発信する。「来年は青春 18 きっぷの関係で 7 月 25 日（土）～26 日（日）となる。観光は琵琶湖の竹生島めぐり」と。そして、本日初参加の水野さんの指揮による「わいわい会賛歌」と「校歌」の斉唱がある。この斉唱後、「わいわい会賛歌」の編曲・演奏でご尽力頂いた末澤さんを紹介させて頂く。最後は、関西桜紫会会長の藤澤さんのご挨拶で大宴会はお開きとなる。



わいわい会賛歌斉唱

藤沢さんの締め

蜩を 22 時 17 分頃出る。そして、22 時半頃から 2 時間位、ホテルのロビーで 2 次会。2 次会の席で京都からの帰りの藤岡さんが合流する。この席に参加して頂いた方は、福家さん、溝縁さん、高田さん、山下さん、宇賀神さん、佐藤さん、藤岡さん、樫原の 8 名であった。本日の営業キロは 6 km、万歩計は 15,373 歩であった。



蛍前

ホテルロビーで2次会



早朝の居酒屋蛍

<2日目> 7月21日(月) 晴れ

5時半に起床し、ホテル近郊を散策する。5時56分、昨日の宴会場所の蛍等を撮影後、コンビニで牛乳を購入後、ホテルに戻り、朝風呂に入る。6時50分頃、食事を摂り、8時15分チェックアウト。8時24分、ホテル前で田村さんに記念写真を撮ってもらう。



東横イン岐阜前

ホテルを8時30分出る。福家さん、坂本さん、末澤さん、宇賀神さん、佐藤明弘さん、田月さん、西堀さん、池田さんの8名は岐阜城散策をパスとなった。また、富野さんと井上さんは、反省会は出るが、岐阜城散策はパス。佐藤さん、田月さん、西堀さんはこれから自転車で京都方面に向かうとのことであった。8時40分、末澤さんから「高田さんが乗り遅れている」との連絡をもらう。それで、名鉄前から出発する路線バス(210円)を1台遅らす。遅れたのは、多田野さん、藤澤さん、高田さん、藤本さん、檜原の5名。



金華山

金華山ロープウェイ

8時56分、前方に金華山にある岐阜城が見えてくる。あんな高いところに城を築くとは。金華山ロープウェイ前には9時10分到着。9時20分、ロープウェイ(運賃往復で1,080円)に乗り込む。「暑いから乗車する定員を30名に制限している」とのことであった。案内によると「金華山の標高は729mある」とのことであった。ロープウェイを5分位乗る。ロープウェイを降りたところから、5分位続く石段を上る。



ロープウェイからの風景



岐阜城看板

9 時 35 分、山下さんに岐阜城が入った看板前で写真を撮ってもらう。9 時 40 分頃、岐阜城（200 円）に入る。集合時間は 10 時とする。城内には本年の大河ドラマ“軍師官兵衛”で登場していた「竹中半兵衛を描いた像」があった。9 時 47 分、山下さんに天守閣で写真を 1 枚撮ってもらう。そして、10 時。岐阜城前で記念写真。



竹中半兵衛

岐阜城の風景

10 時 20 分、途中の休憩所でかき氷（400 円）を頂く。佐藤安夫さんも私と同じかき氷。高田さん、大崎さん、藤岡さん、植村さんはソフトクリームを。10 時 35 分、ロープウェイで下山。お土産屋で家内と会社。11 時少し前、皆でバス停に向かう。



岐阜城

休憩場



ロープウェイ

おこげ本店には、11 時 26 分到着。ここで 13 時半まで反省会。19 名出席。12 時 40 分頃から、各自持ち回りで 1 分間スピーチをしてもらう。13 時半、おこげ本店前で記念写真を撮り、13 時 46 分、岐阜駅前で解散。岐阜駅 13 時 51 分の電車で自宅を目指す。予定時間より、30 分早い電車に乗ることができる。



おこげで大反省会





朝ホテルで考えた青春18きっぷ作戦で本日の東京方面のアクセスに臨む。すなわち、水野さんは単独。4枚残り分（溝縁さん購入分）を大崎さん、藤本さん、樫原で。余りは藤本さんが買い取り。2枚残り分（藤本さん購入分）は、溝縁さんが。一枚分は藤本さんが買い取り。結局私には1枚も来ず。効率的な反面、私にとっては残念な結果となった。この作戦の結果、藤本さんには、藤沢駅で一度途中下車してもらうことになった。



岐阜駅で解散

岐阜から豊橋まで、大崎さん、溝縁さん、藤本さん、水野さん、樫原は同じ車両で。豊橋駅で大崎さんから差し入れがある。浜松（16時10分発）から熱海まで水野さんとはぐれる。熱海までは、日が落ちない状態で帰ることができる。熱海駅の近くで、水野さんと再度合流する。小田原で水野さんが籠原まで直通の電車に乗り換えられる。茅ヶ崎駅で溝縁さんと、藤沢駅で藤本さんと、そして小田急線の南林間駅で大崎さんと別れる。自宅には21時10分到着。万歩計は参考までに10,059歩だった。二日の日程が無事終わりほっとする。第54回のわいわい会も意義あるわいわい会であった。多田野会

長の初めてのご参加が一番強く印象に残った。加えて、わいわい会賛歌を皆で合唱できたし、懇親会や反省会もそれなりによかった。今回程、わいわい会への各位の熱意を強く感じたことはない。



豊橋駅にて

○第 55 回わいわい会(丸ノ内線:東京～新宿)

平成 26 年 10 月 4 日 (土)、第 55 回目のわいわい会を東京メトロ丸ノ内線で開催。いつもであれば、愛犬セブンの話から始まるが、本年 5 月 21 日天国に召されたため、今までのような書き出しができなく、寂しい限りである。東京駅改札口前に 9 名集合。天候も終日穏やかな日和に恵まれる。10 時少し前に、東京駅にある東京立命館事務所 (塩田氏) に立ち寄り、第 4 作目の著書“**財布にやさしい技/数理計算術読本/アクセス V BA って凄いいね**”を寄贈する。20 分位時間をいただく。その後、東京駅丸ノ内線の改札口前に向かう。



東京駅

10 時 20 分頃、宇賀神さんを皮切りに、福田さん、藤本さん、大崎さん、坂本さん、植村さん、谷本さん、佐藤さんと集合。藤田さんは生憎体調不良のため欠席。西田さん、末澤さん、寺西さん、そして臼杵さんからは事前に欠席の連絡を頂く。後來られるかも知れないので 5 分だけ待つことにする。しかし、何方も来られず。11 時 20 分、参加の皆さんに挨拶の後、銀座に向かって出発する。11 時 31 分、J R 東京駅前で記念写真。



東京駅

11 時 53 分、銀座駅に到着。佐藤さんから、11 時 55 分、玄関先に太陽の塔（大阪の万国博覧会で登場）のような数寄屋橋通りに、讃岐の店があるとの情報を頂く。本日佐藤さんから上田でのお土産の飴を頂戴する。同時に、沿線で写真撮影のシャッターを押して下さった方に、飴を手渡しで、ささやかな感謝気持ちを表現されていた。



JR 東京駅

銀座駅

佐藤副会長の心温まる対応に深く感銘を受けた。同時にこのアクションは一例でいつも各位の細かい気配りに感動また感動。12 時 12 分、日比谷公園のオオカミ像前を通過。

そして、松本楼へ。ここで 50 分位ランチタイム。込み合っていたので、10 分位待たされた後、別々のテーブルになることを余儀なくされる。私達のグループは、谷本さんと佐藤さんの 3 人で、屋外でのランチとなる。早速、生ビールとそのつまみとしてハムとクラッカーを注文。そして、名物のビーフカレーを。松本楼の“楼”とは英語でどういう表現になるのか話題となる。ハウス、ホーム、レストラン、キャッスル等が出て来るが。係りの方もどの活字が該当するのか分からず。また、ビーフカレーの肉の部位についても確認。調査頂いた結果、“細切れ肉”とのことであった。毎年、9 月 25 日は“100 円カレーの日”で、この日は行列ができるとのことであった。13 時 5 分、松本楼前で記念写真を撮影後、次の踏破駅である霞ヶ関駅(13 時 16 分)に向かう。



日比谷公園 松本楼

13 時 21 分、佐藤さんに沿道にあるカツラの木を教えて頂く。13 時 38 分、国会議事堂前駅に到着。沢山の警官の姿があった。ここでも警官の長い棒の役割について話題となる。杖がわり、防衛対策……。13 時 41 分、首相官邸前を通過し、日枝神社へ。首相官邸の塀は 3 重になって、自然の要害となっていた。このことも、谷本博士からご教示頂く。



霞ヶ関駅 国会議事堂前駅

14 時、生まれて初めて日枝神社をお参りする。佐藤さんの提言である。50m位上がった先に、神社があったので、エスカレーターで日枝神社の本堂まで向かうこととする。本日は日がいいのか、沢山の結婚式が執り行われていた。



首相官邸の塀



日枝神社

白無垢姿の花嫁とも対面。この場面を見て、来週の三連休の真ん中 10 月 12 日(日)は三男坊の結婚式が浮かんできた。14 時 14 分、赤坂見附駅に到着。この駅はプルデンシャルビル前にあった。佐藤さんによると、このビルは数十年前のホテルニュージャパンの跡地とのことであつた。ニューオータニ、元赤坂プリンス前界限を通り、四ツ谷に向かう、途中上智大学があつた。14 時 47 分、四ツ谷駅に到着。15 時 6 分、四ツ谷三丁目駅。



赤坂見附駅



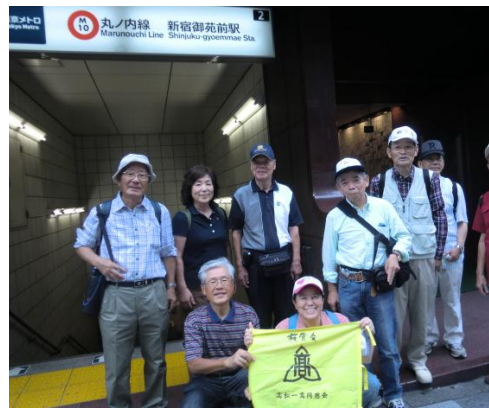
四ツ谷駅

そして、15 時 28 分、新宿御苑前駅を通過。昔、関東桜紫会の幹事会でよく利用した居酒屋“狸”前を通過し、新宿三丁目駅には 15 時 40 分到着。ここで、夕方反省会をする居酒屋“両関”に電話を入れる。15 時 57 分、新宿駅に到着。



四ツ谷三丁目駅

新宿御苑前駅



16 時過ぎ、両関に到着し、ここで、2 時間半程度反省会。わいわい会、東西交流会、第 12 回関東同窓会等色々な話題が出る。あっという間に過ぎ去る。2 次会は両関前の喫茶店（Heimeken）で 1 時間位懇談し。19 時半位解散。自宅には 21 時頃。本日の営業キロは 7.9 k m、万歩計は、30, 075 歩。これで通算の営業キロは 7, 703. 9 k m に。充実した一日であった。約 1 か月半ぶりの歩きでよかった。今日の収穫は、“飴玉作戦”を思いついたこと。この作戦は、高松一高を P R する一助になるかも知れない。



新宿三丁目駅



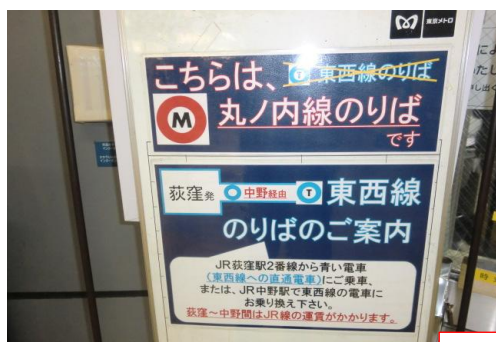
新宿駅



両関で反省会

○第 56 回わいわい会(丸ノ内線:荻窪～新宿)

第 56 回目のわいわい会は、平成 26 年 12 月 6 日（土）、丸ノ内線の荻窪から新宿までの 7.6 km に挑戦する。恐らく、自分単独の歩きを含め、本年最後のウォーキングになるだろう。7 時頃起床し、いつものジョギングコース（15 km）に臨んでからのウォーキングとなる。これまで冒頭でワンパターンのように語らせて頂いた愛犬セブンの話はもう書けない。寂しい限りだ。9 時頃自宅を出て、本日集合場所である丸ノ内線荻窪改札口前には 10 時半頃到着。流石早いので何方の姿も見えず。暫くして、寺西大先輩がお見えになる。そして、福家さん、福田さん、大崎さん、門口さん、小川さん、宇賀神さん、藤本さん、藤岡さん、坂本さん、谷本さんと 12 名方が改札口前に集合。昨日から本日にかけ、藤田さん、西田さん、高田さん、末澤さんから欠席の連絡を頂戴する。待ち時間を利用して、本日早朝突貫工事で写真を挿入した“第 8 号わいわい道中記”（53 回～55 回）を福田さん等にお見せする。いつもながらお褒めを頂き努力が報われた気分となる。



荻窪駅

皆さんに 11 時 25 分挨拶後、荻窪駅前で写真撮影後、1.5 km 先の南阿佐ヶ谷駅を目指し出発となる。意外にも 1.5 km が遠く感じる。出発時の天候は雲一つない快晴。現会長である福家さんのお話によると、本日はかつて都電が走っていた道筋とのことであった。また、初代幹事長の福田さんから地下鉄の“空気溝”についても教えて頂く。そう言えば、毎朝通勤する青梅街道の道筋にも 50m 位の間隔で丸ノ内線の空気溝を見かける。今後、「地下鉄線つたい歩き」する上でこの空気溝の着眼点は、重要なカギとなろう。今日もまたいい勉強をさせて頂いた。沿道の銀杏（独特の匂いあり）は紅葉近しであった。師走の街並は何となくウキウキする。本日も「わいわい」と世間話をしながら歩く。



わいわいと語りながら歩く

その中で、宇賀神さんとは“わいわい会 100 回達成の決意”を確認し合う。「何といっても宣言し、達成できれば凄いね。そして 100 回記念号が執筆できれば最高ね」と。同時に、私の著書の 5 作品を通じて当初の夢が実現できた旨にも触れながら。つまり、“わいわい道中記／50 回記念号 “の修善寺の巻で触れているように、木内さんや宇賀神さん等と将来執筆すべき書籍のテーマを深夜にかけて語り合った夢が、何となく実現

できたことを。加えて、ウェブサイト”カッシー館“に登場する「こだわり四天王」というフレーズは、宇賀神さんの智恵をお借りして実現できたことも。一方、福家さんとは、寂れつつある屋島話を機に故郷香川の夢物語について語り合う。香川は地震や風水害も少ないことから、危険分散の視点から大都市東京の機能の一部を香川や岡山辺りに移せないか。そして、路面電車の復活。屋島、高田、仏生山、岡本辺りを通る路面電車はどうか……。中都市高松を目指して夢のような構想がまだまだ続く。

わいわい会からの産物です

夢が叶った五著書



アマゾンキンドル
ストアからの
電子書籍版
“近鉄京都線”
(税込 300 円)

小豆色の帽子は
今後のわいわい
会のトレードマ
ークにしたいも
のです



南阿佐ヶ谷駅

12 時、南阿佐ヶ谷駅に到着。本日は佐藤副会長から寄贈して頂いた帽子（高松一高野球棒を桜紫会用にアレンジしたもの：中西太氏サイン入り）をわいわい会で初披露させて頂く。私の他、偶然にも坂本さんや谷本さんにもお付き合い頂くこととなった。感謝感激。12 時 25 分、新高円寺駅に到着。12 時 35 分、少し行った先の台北餃子で昼食とする。一堂に同じテーブルとはいかなかったが、男性 8 名と女性 4 名と何とか席を確保できる。ここで、先日の第 12 回高松一高関東同窓会の話題を中心とし、楽しい懇談が続く。あっという間に 1 時間が過ぎ去る。この時間を利用して、夕方の反省会のご都合を聞く。全員が出席可能とのことで、感謝の気持ちで一杯となる。お開き前にママさんに店内で記念写真を撮って頂く。



新高円寺駅



台北餃子



蚕糸の森公園

13 時 35 分、この店を後にする。直ぐ近くに当初観光を予定していた“蚕糸の森公園”があった。公園内にはバザー会場で賑わっていた。この界限は孫の運動会や、また数年前に丸ノ内線踏破の際にも通った道筋であったので私の頭の中に強く残像としてあった。誰もこの公園に見向きもしなかったのでパスする。13 時 40 分、東高円寺駅に到着。新中野駅には 14 時 2 分。歩きながら、早く着きそうなので、当初考えていた“咲くら”での反省会を取り止める。皆さんの了解も得て。14 時 23 分、中野坂上駅に到着する。正面向うには、現在、フコクしんらい生命がある住友不動産新宿グランドタワーが見える。直ぐ近くに見えたが、1.1 k m 先であった。丁度山が見えても頂上まで遠いのも同じ現象であった。お馴染みの風景を見ながら、西新宿駅には 14 時 50 分到着。そして、新宿駅には 15 時 8 分到着。



東高円寺駅



新中野駅



中野坂上駅



西新宿駅



新宿駅

福家さんと相談し、反省会の場所は、新宿駅西口にある“天狗”とする。運よく 12 名が一堂に会する席を確保できる。ここで 15 時半から 17 時半位、反省会兼忘年会をする。ここでも先日の同窓会の話題が出て盛り上がる。時間を利用し、**第 8 号わいわい道中記**を回覧させて頂く。数年前までは APS によるカメラであったので集合写真を各位に配布していたが、ここ数年前から画素数の粗いデジカメ(著書用対策)に切り替えしたので、事務の省力化やコスト削減等から、私の独断と偏見で写真の配布を割愛させて頂いた。主に同好会コーナーに集合写真等を反映した“わいわい道中記”を掲示できる故に。あっという間に 2 時間が過ぎ去る。次回のわいわい会(平成 27 年 3 月 7 日)は地下鉄メトロの日比谷線(中目黒～日比谷)と発表し、一次会は閉幕となる。



丸ノ内線新宿駅



天狗

酔い冷ましに、二次会として喫茶店に行くことにする。新宿西口の B1 にある喫茶店通りはどの店も満席であった。やむを得ず、55 回わいわい会でも利用したスバルビル B1 の喫茶店（Heimeken）に向かうことにする。運よく、空席がありほっとする。先発隊は、寺西さん、福田さん、門口さん、榎原の 5 名。後から残りの 7 名が参加。結局最後まで全員の参加となった。ここで 19 時半まで歓談をし、お開きとなる。自宅には 20 時 28 分到着。本日の万歩計は 32,611 歩であった。わいわい会のメンバーと師走の風情を存分に堪能でき、充実した一日を過ごすことができた。各位に感謝あるのみ。これで、池袋から荻窪までの丸ノ内線（24.2 km）の全駅の踏破が目出度く達成できる。



天狗



Heimeken

○参加者(第 53 回～第 56 回)

＜関東桜紫会＞

植村寿子、宇賀神篤美、大崎武久、小川嘉子、樫原 勉、
坂本康夫、佐藤明弘、末澤美紀子、谷本静男、寺西修司、
西田伊勢子、福田 博、福西昭夫、福家 寛、藤岡具美、
藤本泰彦、水野 充、溝縁義文、門口マサ子

＜関西桜紫会他＞

池田 稔、井上律子、佐藤安夫、高田律子、多田野 榮、田月 宏、
富野由紀子、西堀常安、藤澤隆教、山下和秋、山本初代

＜アイウエオ順、敬称略＞